

えどがわく はし
江戸川区の橋(1)

えどがわく はし
江戸川区の橋

江戸時代には、江戸川や中川(旧中川)に橋をかけることが許されなかった
ので、渡し舟で川を渡りました。「橋」という言葉は、「物の端^{はし}」から生まれ
たもので、これが端と端を結ぶもの、さらには「連絡する」という意味にな
りました。

区内最初の橋は、明治12年(1879)に中川(旧中川)に架けられた逆井橋^{さかさいばし}で、
かつて逆井の渡しがあったところです。明治32年(1899)に同じ中川の平井の
渡しのところに平井橋が架けられました。江戸川では明治37年(1904)に小岩
市川の渡しにかわる江戸川橋(現在の市川橋)、同45年(1912)に下江戸川橋
(現在の今井橋)が今井の渡しのところに架けられています。これによって、
4つの方面から区内を通過する主要道路が橋で結ばれました。

大正5年(1916)に本区最初の鉄橋である新川橋^{しんかわばし}が架けられ、開削^{かいさく}のはじま
った荒川放水路には、小松川橋が大正11年(1922)、船堀橋が大正12年(1923)
に架けられました。

昭和にはいると、鉄橋の架設^{かせつ}がすすみ、昭和2年(1927)には江戸川橋が鉄
橋となり、市川橋と改称されました。翌3年には荒川放水路に葛西大橋が架
けられ、昭和15年(1940)に浦安橋が鉄橋で架設され、同16年(1941)には小松
川橋が鉄橋になっています。

昭和30年代は、新中川に相次いで橋が架けられました。その後も、道路の
整備にともなって新しい橋がつくられ、また、網の目のように走っていた内
河川が整理され、それらの橋のいくつかは役目を終えて姿を消しました。

平成21年(2009)4月現在、江戸川区には国道に架かる橋11、都道に架かる橋
47、区道に架かる橋52、合計110の橋が架かっています(高速道路の橋は除く)。



江戸川橋(現市川橋)と通運丸

江戸川的主要な橋の架橋

- ・ **市川橋**：明治37年(1904)、小岩市川の渡しのあったところに木造の江戸川橋が完成しました。昭和2年(1927)、江戸川の改修とともに鉄橋となり、市川橋と改称しました。昭和39年(1964)、上流(北側)に新たに市川橋が架けられ、同41年(1966)には旧橋も架け替えられました。
- ・ **江戸川大橋**：昭和35年(1960)、京葉道路の開通にあわせて架橋され、昭和45年(1970)に改修、拡張されました。
- ・ **今井橋**：明治45年(1912)に木造の下江戸川橋が架けられて、今井の渡しが姿を消しました。昭和初年頃に改修され、小岩の江戸川橋が市川橋となっていたので、こちらは今井の地名をとって今井橋となりました。昭和26年(1951)に架け替え、同56年(1981)には鉄橋に変わりました。現在の橋は、下りが平成5年(1993)に、上りは同9年(1997)に完成しました。
- ・ **浦安橋**：昭和15年(1940)に鋼トラス橋で完成。その後、東京と千葉方面を結ぶ交通量の増大によって葛西橋通りの道路整備が行われ、現在の浦安橋は昭和53年(1978)に北側、同60年(1985)に南側が完成しました。
- ・ **舞浜大橋**：国道357号が旧江戸川河口を渡る鉄橋であり、昭和59年(1984)に北側、平成2年(1990)に海側の橋が架けられました。平行して高速湾岸線とJR京葉線が通っています。

江戸川区郷土資料室

〒132-0031 東京都江戸川区松島 1-38-1 グリーンパレス 3階
TEL : 03-5662-7176 (9:00~17:00)